

研究成果及び活動一覧 (2018. 1. 1～12. 31)〔五十音順〕

- A：著書、論文、書評など
 B：学会での口頭発表その他の活動
 C：講演、論説など
 D：学術的調査

青山英正

- A：1 (論文)「菊廼屋真恵美年譜稿」、『中央大学紀要(言語・文学・文化)』第121号、pp 55-71、2. 15.
 2 (論文)「伊勢における『春雨物語』の貸借——石水博物館蔵川喜田遠里宛竹内弥左衛門書簡をめぐって」、『明星大学研究紀要 人文学部日本文化学科』第26号、pp 33-43、3. 10.
 3 (論文)「孝明天皇と古今伝受——附・幕末古今伝受関係年表」、飯倉洋一・盛田帝子編『文化史のなかの光格天皇——朝儀復興を支えた文芸ネットワーク』、勉強出版、pp 65-92、6. 15.
- B：1 科学研究費補助金基盤(B)「伊勢商人の文化的ネットワークの研究——石水博物館所蔵書簡資料をもとに」(研究課題番号15H03183)、研究代表者。
 2 科学研究費補助金基盤(B)「写本文化としての日本近世——国際貢献できるUCバークレー校蔵写本目録作成を通じて」(研究課題番号17H04520、研究代表者：勝又基)、研究分担者。
 3 (学会活動) 鈴屋学会常任委員
 4 (学会活動) 日本近世文学会広報企画委員。(6月まで)
 5 (学会活動) 日本近世文学会ホームページ作成委員。(6月まで)
 6 (学会活動) 日本近世文学会委員。(6月から)
 7 (学会活動) 日本文学協会委員。(12月から)
 8 人間文化研究機構国文学研究資料館地域資料専門部会委員。
 9 (口頭発表)「伊勢の文化的ネットワークと『春雨物語』——石水博物館所蔵川喜多遠里宛竹内弥左衛門・正住弘美書簡をめぐって——」、「近世中後期上方文壇における人的交流と文芸生成の〈場〉」公開研究会、於大阪大学豊中キャンパス、3. 3.
 10 (学術活動) 第16回幕末明治研究会(共同発起人：前田雅之・上原麻有子)、主催、於京都大学、6. 23.
 ①石原和氏(国立民族学博物館)「如来教の「近代教団」化——石橋智信の研究と機関紙『このたび』から」
 ②前田雅之氏(明星大学)「書物と権力のその後——近代における書物の位置をめぐって——」
 11 (口頭発表・学術活動)「伊勢商人川喜田石水の蔵書形成と京都の書肆城戸市右衛門の営業活動——石水博物館所蔵書簡をめぐって」、第17回幕末明治研究会(共同発起人：前田雅之・上原麻有子・青山)、主催、於明星大学、12. 8.
 発表は他に飛田英伸氏(東京大学大学院総合文化研究科超域文化科学専攻(比較

文学比較文化) 博士課程)「中村正直における漢文——ロンドン留学と『漢土訓語』」。

- C : 1 (講演)「城戸千楯——平田篤胤を毛嫌いした京都の宣長門人」、宣長十講「毀誉相半! ほめたりけなしたり」第九講、於松阪市松阪公民館、2.17.
2 (講演)「道歌——教義・教訓を詠んだ和歌」、泉岳寺学寮公開講座主催第7回公開講演会、於泉岳寺、11.24.
- D : 1 (学術調査)石水博物館所蔵書簡調査、於津市石水博物館、1.20-21.
2 (学術調査)石水博物館所蔵書簡調査、於津市石水博物館、2.20-21.
3 (学術調査)石水博物館所蔵書簡調査、於津市石水博物館、3.22-23.
4 (学術調査)石水博物館所蔵書簡調査、於津市石水博物館、4.14-15.
5 (学術調査)石水博物館所蔵書簡調査、於津市石水博物館、5.12-13.
6 (学術調査)石水博物館所蔵書簡調査、於津市石水博物館、6.9-10.
7 (学術調査)石水博物館所蔵書簡調査、於津市石水博物館、7.21-22.
8 (学術調査)石水博物館所蔵書簡調査、於津市石水博物館、8.29-31.

内海敦子

- A : 1 「談話におけるインドネシア語のヴォイス：バリ島で話されているインドネシア語の談話の分析から」『明星大学研究紀要——人文学部——日本文化学科』、第26号 pp.80 (15)-67 (28), 3.10.
- B : 1 学会発表：Address Terms in Indonesia. (共著者 Sri Budi Lestari) Fourth International Conference on Asian Geolinguistics: University of Indonesia, Jakarta. 5.4.
2 学会発表：The Tonsawang Language's Basic Morphology and Syntactic Features. 28th Meeting of Southeast Asian Linguistics Society, 文藻大学、高雄。5.19.
3 学会発表：Discourse Functions of the Aspectual Clitics in Bantik. 14th International Conference on Austronesian Linguistics, Universite Antananarivo. 7.17.
4 学会発表：Different Styles and Registers of Bahasa Indonesia spoken by Javanese people. (共同発表者 三宅良美). 14th International Conference on Austronesian Linguistics, Universite Antananarivo. 7.19.
5 研究会発表：Research on stress and intonation in varieties of Malay: the case of Manado Malay and Lampung Malay
6 日本言語学会運営委員長、1.1~6.30.
- C : 1 明星大学人文学部日本文化学科公開講座：「新しい敬語と方言～語用論と方言学の発展～」明星大学日野キャンパス。10.6.

- D : 1 茨城県大洗町におけるインドネシア語マナド方言調査。2.25-2.27.

- 2 茨城県大洗町におけるインドネシア語マナド方言調査。12. 22-12. 24.

勝又 基

- A : 1 (共編著)『怪異を読む・書く』、国書刊行会、p 488、11. 21.
- B : 1 科研費補助金 (基盤 (B) 海外学術)「写本文化としての日本近世——国際貢献で
きる UC バークレー校蔵写本目録作成を通じて」(課題番号 17H04520) 研究代表者、
1. 1~12. 31.
- C : 1 (コーディネートおよび司会) 国際シンポジウム「写本が開く江戸へのトビラ」、明
星大学、1. 8.
- 2 (英語パネルオーガナイザーおよび発表)「Translating and Retelling Tradition:
Reimagining between Eras in Japanese Culture」、Crossroads 2018 (上海大学)、
8. 12.
- 3 (英語パネルオーガナイザーおよび発表)「Sparkling Manuscripts, Sparkling Evi-
dence: The Role of Manuscripts in the Edo Period」、AJLS2018 (UC バークレー
校)、9. 9.
- 4 (英語学会発表)「A Dog, a Monkey, and a Hawk: The Transformation of Momotarō
in the English-speaking World」(英語)、New England Regional Conference Asso-
ciation of Asian Studies (ブランダイス大学)、10. 6.
- 5 (招待講演)「ホモセクシャル VS ヘテロセクシャル：江戸の論争文化から見るジェ
ンダーの問題」、台湾交通大学大学院、12. 11.
- 6 (招待講演)「桃太郎の昔と今」、静宜大学、12. 12.
- 7 (招待講演)「日本の親孝行文化～江戸から現代まで」、台湾大学大学院、12. 13.
- 8 (招待講演)「桃太郎の昔と今」、元智大学、12. 14.
- 9 (学会発表)「台湾から見える日本文学研究の新たな景色」、2018 年度輔仁大学日本
語文学科創立 50 周年・台湾日本語学会創立 30 周年記念国際シンポジウム、輔仁
大学、12. 15.

向後恵理子

- A : 1 [学術論文]「木口木版による〈近代の戦争〉の図解——日清戦争を中心に」『木口
木版のメディア史 近代日本のヴィジュアルコミュニケーション』勉誠出版、240-
259 頁、2018. 3.
- 2 [学術論文]「乳と貝——人魚の乳房をめぐる力学」『ゆるるおっばい、ふくらむお
っばい 乳房の図像と記憶』岩波書店、38-52 頁、2018. 5.
- B : 1 [学術発表]「惨たる死のメモラビリアとスペクタクル——日露戦争と尼港事件を題
材として」第 3 回東アジア日本研究者協議会国際学術大会、分科会 3、C3 自由発
表パネル「近代東アジアにおける戦争・植民地・労働」(京都リサーチパーク)

2018. 10. 27.

- 2 [科学研究費助成] 研究分担者(事務局担当)、基盤研究(B)、「日本近代における〈イコノクラスム〉——破壊をめぐる視覚表象研究」(研究課題番号15H03179) 2015-19年度、研究代表者:丹尾安典(早稲田大学)。
 - 3 早稲田 表象・メディア論学会 会計監査担当。
- C : 1 「おっばいを見る、おっばいを考える、おっばいを愛す」おっばい研究は世界を揺さぶる——文学から、美術から(『ゆるるおっばい、ふくらむおっばい 乳房の図像と記憶』(岩波書店) 刊行記念 木村朗子×向後恵里子トークイベント) 2018. 9. 3. (神保町ブックセンター)。
- 2 明星大学日本文化学科公開講座 2018年度〈平成の30年～平成時代の世相と文化〉「平成における〈昭和〉の記憶——ノスタルジーから“バブル”まで」2018. 10. 13. (明星大学)。
- D : 1 [新刊紹介]「武田義明『風の街・福岡デザイン史点描』(花乱社 2017年10月)」
<http://www.repre.org/repre/vol32/books/sole-author/takeda/>、2018. 2. 26.
- 2 自主研究会・学外授業:「美術・視覚文化研究会」の活動の一環として以下の学外授業を行った。
 - ・「ガレも愛した清朝皇帝のガラス展」(サントリー美術館)、「池田龍雄展」(練馬区立美術館) 5. 26.
 - ・「マジック・ランタン 光と影の映像史展」(東京都写真美術館) 10. 7.
 - 3 自主研究会:星友祭において「和本」をテーマにした展示・和本作り体験を行った。11. 1-3.

古田島洋介 *前号未掲載分(2017年)を含む。

《2017》

- A : 1 論文:四字句への返り点 再説——返り点に非ざる返り点を撤廃せよ——、明星大学紀要【人文学部・日本文化学科】紀要第25号、pp. 1-12、3. 1.
- 2 論文:「三韻」と「倒結先後之法」——『海游録』付篇の二つの用語——、東アジア比較文化国際会議日本支部「東アジア比較文化研究」第16号、pp. 135-147、6. 20.
- 3 著書:これならわかる復文の要領——漢文学習の裏技——、新典社《新典社選書》83、326 ps.、8. 3.
- 4 論文〔フランス語〕Qu'est-ce que le *kanbun kundoku*?——Une Méthode particulière japonaise de traduction de la langue chinoise classique, *Philosopher la traduction /Philosophizing Translation*, *Frontiers of Japanese Philosophy* 9, sous la direction de UEHARA Mayuko, Nanzan Institute for Religion and Culture, Chisokudo Publications, Nagoya, Japan, 9. 1.
- 5 論文:漢文訓読は解釈・翻訳なのか?——『論語』学而「有朋自遠方來」の訓読再

考——、中西進 [編] 東アジア比較文化国際会議日本支部創立二十周年記念論集『東アジアの知——文化研究の軌跡と展望——』pp. 27-40、新典社、10. 25.

- B : 1 東アジア比較文化国際会議日本支部支部長 (継続)
- C : 1 論考：珍妙な訓読、東大比較文学会「比較文學研究」102号、pp. 128-131、2. 15.
 2 随筆：林連祥先生追悼文、上記 C1 同誌、pp. 145-147、2. 15.
 3 跋文：上記 A5 同書、pp. 395-396、新典社、10. 25.
- D : 1 武術指導：日文研究会「日中武道比較研究会」の顧問として、日本少林拳同盟会会長：川口賢氏を招聘し、基本功を中心に指導。6. 27.

《2018》

- A : 1 論文：纏足の再把握——身体論としての視座を求めて——、牛村圭 [編]『文明と身体』pp. 99-117、臨川書店、10. 31.
- B : 1 基調講演：日韓の固有文字をめぐって——仮名・ハングルと神代文字——、第14回東アジア比較文化国際会議：国際学術大会「東アジアの交響」、二松學舎大学(九段キャンパス)1号館403教室、9. 29.
 2 東アジア比較文化国際会議会長兼日本支部長、10. 1.~
 3 研究発表：固有文字への矜持——ハングルと神代文字——、第3回東アジア日本研究者協議会国際学術大会、京都市・京都リサーチパーク、東地区1号館4F小会議室D：分科会5：セッションD5「文化の受容と表象」第4発表者、10. 28.
- C : 1 随筆：小宮彰さんの思い出、小宮彰『論文集——寺田寅彦・その他——』pp. 366-367、花書院、1. 12.
 2 論考：〈平成〉談義、東大比較文学会「比較文學研究」104号、pp. 159-166、11. 9.
- D : 1 武術指導：日文研究会「日中武道比較研究会」の顧問として、日本少林拳同盟会会長：川口賢氏を二回にわたって招聘し、基本功・少林連環拳を中心に指導。6. 26., 11. 27.

柴田雅生

- A : 1 (論文)「『真字寂寞草』の片仮名「本文」について」、『明星大学研究紀要 人文学部日本文化学科篇』第26号、pp. 9-16、3. 9.
- C : 1 「日本語の歴史からみた平成期——〈言語変化〉のその後をめぐって——」、明星大学人文学部日本文化学科公開講座「平成の三十年～平成時代の世相と文化」、10. 20.

- D : 1 3年次の日本文化演習で、学生とともに、『虎明本狂言集』のこぼれかきの研究を行う。
- 2 学生による自主研究会「日本語研究会」の顧問として、漫画のオノマトペの研究を行う（成果は冊子としてまとめる予定）。

田村良平（筆名：村上湛）

- A : 1 報告：「復曲能〈星〉の再考・新演出について」、『明星大学研究紀要 人文学部・日本文化学科』26号、pp.1-8、明星大学人文学部日本文化学科、3.9.
- 2 評論：「横浜能楽堂・伝統組踊保存会提携公演『能の五番・朝薫の五番』第4回組踊〈二童敵討〉、能〈放下僧〉～詩劇支える能鳳の至芸」（2.4.横浜能楽堂公演）、『琉球新報』2.14.
- 3 評論：「〈檜垣〉二題と新作二題～12月の能・狂言」、『能楽タイムズ』2月号、能楽書林、2.1.
- 4 評論：「ダンスと歌唱／浮遊する情念～新作オペラ〈松風〉」、『能楽タイムズ』3月号、能楽書林、3.1.
- 5 評論：「美学か、哲学か～京都観世会の復曲〈実方〉」、『能楽タイムズ』7月号、能楽書林、7.1.
- 6 評論：「古典と新案～国立能楽堂開場35周年記念公演～9月の能・狂言」、『能楽タイムズ』11月号、能楽書林、11.1.
- 7 書評：「相照らす鏡～山本順之先生傘寿記念『相音 二つの声を求めて』」、『能楽タイムズ』12月号、能楽書林、12.1.
- 8 報告：「新演出〈玉井 龍宮城〉について」、『観世』5月号、檜書店、5.1.
- 9 解説：「能〈難波〉、狂言〈松樫〉」「仕舞〈花月〉、狂言〈宗論〉、能〈鉢木〉」、『国立能楽堂』413号、pp.4-5、16-17、独立行政法人国立能楽堂、1.1.
- 10 解説：「復曲狂言〈浦島〉、能〈玉井 龍宮城〉」、『国立能楽堂』414号、pp.21-22、独立行政法人国立能楽堂、2.1.
- 11 解説：「狂言〈太刀奪〉、能〈求塚〉」、『国立能楽堂』415号、pp.12-13、独立行政法人国立能楽堂、3.1.
- 12 解説：「仕舞・復曲〈実方〉、狂言〈鳴子遣子〉、能〈西行桜〉」、『国立能楽堂』416号、pp.16-18、独立行政法人国立能楽堂、4.1.
- 13 解説：「狂言〈水掛掣〉、能〈放下僧〉」、『国立能楽堂』417号、pp.4-5、独立行政法人国立能楽堂、5.1.
- 14 解説：「狂言〈栗田口〉、能〈敦盛〉」、『国立能楽堂』418号、pp.4-5、独立行政法人国立能楽堂、6.1.
- 15 解説：「仕舞〈花筐〉、狂言〈鏡男〉、能〈木曾 願書〉」、『国立能楽堂』419号、pp.14-15、独立行政法人国立能楽堂、7.1.
- 16 解説：「狂言〈瓜盗人〉、能〈通盛〉」、『国立能楽堂』420号、pp.4-5、独立行政法人国立能楽堂、8.1.
- 17 解説：「〈翁〉、〈松竹風流〉、能〈井筒 物著〉、能〈乱 置壺〉、「能〈安宅〉、狂言

- 〈栗焼〉、能〈砧〉、『国立能楽堂』421号、pp.6-8、13-15、独立行政法人国立能楽堂、9.1.
- 18 解説：「狂言〈右近左近〉、能〈自然居士 古式〉、『国立能楽堂』421号、PP.13-14、独立行政法人国立能楽堂、10.1.
- 19 解説：「能〈狐塚 小唄入〉、能〈小鍛冶 黒頭〉、『国立能楽堂』422号、PP.13-14、独立行政法人国立能楽堂、11.1.
- 20 解説：「狂言〈文相撲〉、能〈経正 替之型〉、『国立能楽堂』423号、pp.10-11、独立行政法人国立能楽堂、12.1.
- 21 解説：「能〈千手 重衣之舞〉、狂言〈布施無経〉、能〈天鼓 弄鼓之楽〉、『第47回桃々会 関根祥雪一周忌追善能パンフレット』、閑能會、4.8.
- 22 解説：「狂言〈福部の神 勤入〉、能〈半蔀 立花〉、半能〈石橋〉、『塩津清人三十三回忌追善第9回清能会・塩津能の會パンフレット』、塩津能の會、10.6.
- 23 解説：「ミュージカル〈モーツァルト!〉鑑賞の手引き」、日本文化学科1年生学外講座用冊子、6.24.
- 24 随筆：「皇室と能」、『能・スケジュール』1~3月号、一般社団法人観世会、1.1.
- 25 随筆：「羽生結弦の花」、『能・スケジュール』4~6月号、一般社団法人観世会、4.1.
- 26 随筆：「花のいろいろ」、『能・スケジュール』7~9月号、一般社団法人観世会、7.1.
- 27 随筆：「買う人あれば売り手もある」、『能・スケジュール』10~12月号、一般社団法人観世会、10.1.
- 28 随筆：「雪月花まわり舞台・第30回~歌舞伎座12月興行 市川中車・坂東玉三郎〈臉の母〉」、『孤峰』平成30年1月号、一般財団法人江戸千家蓮華庵、1.10.
- 29 随筆：「雪月花まわり舞台・第31回~Bunkamuraシアターコクーン〈欲望という名の電車〉」、『孤峰』平成30年2月号、一般財団法人江戸千家蓮華庵、2.10.
- 30 随筆：「雪月花まわり舞台・第32回~日生劇場 三島由紀夫〈黒蜥蜴〉」、『孤峰』平成30年3月号、一般財団法人江戸千家蓮華庵、3.10.
- 31 随筆：「雪月花まわり舞台・第33回~歌舞伎座3月大歌舞伎〈瀧の白糸〉」、『孤峰』平成30年4月号、一般財団法人江戸千家蓮華庵、4.10.
- 32 随筆：「雪月花まわり舞台・第34回~日生劇場ミュージカル〈ラ・カージュ・オ・オフォール〉」、『孤峰』平成30年5月号、一般財団法人江戸千家蓮華庵、5.10.
- 33 随筆：「雪月花まわり舞台・第35回~塩津哲生・梅若万三郎 能〈小原御幸〉」、『孤峰』平成30年6月号、一般財団法人江戸千家蓮華庵、6.10.
- 34 随筆：「雪月花まわり舞台・第36回~演劇ユニット serial number 旗揚げ公演〈next move〉」、『孤峰』平成30年7月号、一般財団法人江戸千家蓮華庵、7.10.
- 35 随筆：「雪月花まわり舞台・第37回~篠井英介〈スプーン一杯の水〉」、『孤峰』平成30年8月号、一般財団法人江戸千家蓮華庵、8.10.
- 36 随筆：「雪月花まわり舞台・第38回~第20回・音の会〈傾城反魂香〉中村京藏のお徳」、『孤峰』平成30年9月号、一般財団法人江戸千家蓮華庵、9.10.

- 37 随筆：「雪月花まわり舞台・第39回～クレスマン・テイラー原作／フランク・ダンロップ脚色〈受取人不明／ADDRESS UNKNOWN〉」、『孤峰』平成30年10月号、一般財団法人江戸千家蓮華庵、10.10.
- 38 随筆：「雪月花まわり舞台・第40回～草笛光子〈6週間のダンスレッスン〉」、『孤峰』平成30年11月号、一般財団法人江戸千家蓮華庵、11.10.
- 39 随筆：「雪月花まわり舞台・第41回～友枝昭世 能〈卒都婆小町〉」、『孤峰』平成30年12月号、一般財団法人江戸千家蓮華庵、12.10.
- 40 随筆：「能のみかた～能を見るには／能を見るとは」、『武蔵野樹林』発刊第1号、角川文化振興財団、10.20.
- 41 対談：「現代歌人特集シリーズ・馬場あき子 今、語りあいたい人」（馬場あき子氏と対談）、『短歌』2018年5月号、角川文化振興財団、4.25.
- 42 個人ウェブサイト「村上湛・古典演劇評論」において評論・研究・随想を通年に互り随時公開。

C：1 一般財団法人観世文庫評議員

- 2 平成30年度（第73回）文化庁芸術祭執行委員会・審査委員【演劇部門（関東の部）】
- 3 国立能楽堂の委嘱により、2月定例公演における能〈玉井 龍宮城〉（シテ：梅若実）の新演出を担当する。2.28.
- 4 明星大学人文学部日本文化学科公開講座「『源氏物語』の世界／平成の30年～平成時代の世相と文化」（全8講座）の企画・立案を担当する。明星大学日野校、10.6、13、20、27.
- 5 講演：明星大学人文学部日本文化学科公開講座「『源氏物語』の世界～〈明石1、2〉講読」、明星大学日野校、10.20、27.
- 6 講演：「美女の残影～『心の花』の余香」、銀座余情～能と狂言・大倉源次郎人間国宝認定祝賀（能〈卒都婆小町 一度之次第〉シテ：大槻文藏）、観世能楽堂、7.15.
- 7 講演：「能〈班女〉、〈融 窈〉について」、セルリアンタワー能楽堂定期能9月公演～観世流、セルリアンタワー能楽堂、9.15.
- 8 講演：「春の湊の行く末」、第659回大槻能楽堂自主公演能「能の魅力を探るシリーズ／西国旅情」（能〈藤戸〉シテ：友枝昭世）、大槻能楽堂、12.22.
- 9 講座：朝日カルチャーセンター新宿教室1月期講座「能をどう見るか・能〈玉井〉風流能の可能性」、朝日カルチャーセンター新宿教室、1.11、2.8、3.8.
- 10 講座：朝日カルチャーセンター新宿教室4月期講座「能をどう見るか・能〈西行桜〉花木の能の淵源」、朝日カルチャーセンター新宿教室、4.19、5.10、6.14.
- 11 講座：朝日カルチャーセンター新宿教室7月期講座「能をどう見るか・能〈弱法師〉古演出と現行演出」、朝日カルチャーセンター新宿教室、7.19、8.23、9.13.
- 12 講座：朝日カルチャーセンター新宿教室10月期講座「能をどう見るか・能〈半蔀〉花藝と能藝」、朝日カルチャーセンター新宿教室、10.11、11.8、12.12.
- 13 講座：「対談・源氏物語と能～『葵上』をめぐって」（馬場あき子氏と対談）、朝日

カルチャーセンター新宿教室、12.17.

- 14 講座：池袋コミュニティカレッジ1月期～10月期「『歌舞髓脳記』精読」、池袋コミュニティカレッジ、2.26、3.12、26、4.23、5.28、6.25、7.23、8.27、9.10、10.29、11.26、12.10.
- 15 放送解説：FM能楽堂・一調一声〈三井寺〉、素謡〈難波〉、〈国栖〉、狂言〈口真似〉、〈伯母ヶ酒〉ほか、NHKFM、7.1、8、22、29.
- 16 講座：富山県立富山高等学校の委嘱を受け、同校「人文社会科学科東京研修」における訪問・研修の受け入れ（2年生3名対象「狭衣物語研究指導」）、8.2.
- 17 講座：国立劇場おきなわの委嘱を受け、同劇場組踊研修における講義科目「日本芸能史」（第5期研修生対象）の講師として同劇に出講（4日間・計8コマ）。8.6、7、8、9.

【昨年分補遺】

- 18 放送解説：「観世能楽堂開場記念公演」副音声解説、NHK・Eテレ、2017.5.7。（再放送2017.7.1）

- D：1 日本文化学科1年生学外講座として東宝ミュージカル〈モーツァルト！〉鑑賞会を企画、学科教員とともに引率する。帝国劇場、6.24.
- 2 上記企画の準備として鑑賞事前講座（「伝統文化論1」「比較文化論1」代替授業）の企画・立案を担当する。6.20、22.
- 3 日本文化学科学生研究会「源氏物語研究会」の研究指導を通年に互って担当する。
- 4 上記研究会の企画として京都研修会を引率する。2.6、7.
- 5 上記研究会の企画として学外読書会を引率する。円覚寺龍隠庵、9.7.
- 6 日本文化学科学生研究会「舞台藝術鑑賞会」の研究指導を通年に互って担当し、公演に引率する（日生劇場ミュージカル〈ラ・カージュ・オ・フォール〉3.15、東京芸術劇場シアターウエスト〈人形の家〉5.18、草笛光子主演〈新・6週間のダンスレッスン〉9.29、ミュージカル〈スリル・ミー〉12.19、26）。
- 7 日本文化学科学生雑誌『蝦蟇』の顧問を務める。
- 8 同誌17号（2018年3月発行）掲載の馬場あき子、上原理生・田村良太、それぞれ取材記事の聞き手と成稿を担当する。

服部 裕

- C：1 （講演）「民主主義とポピュリズム～ポスト冷戦時代の民主主義」、明星大学人文学部日本文化学科公開講座（「平成の30年～平成時代の世相と文化」）、10.27.

- D：1 日本文化学科学生自主研究会「映画研究会」の指導を行った。

前田雅之

- A：1 （単著）『なぜ古典を勉強するのか』、図書出版文学通信、335ps、6.10.
- 2 （単著）『書物と権力』、吉川弘文館、215ps、9.1.

- 3 (編著)『画期としての室町 政事・宗教・古典学』、勉誠出版、515 ps、10.19.
- 4 (編著)『室町～江戸初期における書物移動と大名文庫の蔵書形成に関する総合的研究』(科研・基盤(B)) 成果報告書、ps 299、3月(渡瀬淳子氏と共編)
- 5 (論文)「足利將軍家における政事と文事——武家執奏・和歌・打聞」、前田編『画期としての室町 政事・宗教・古典学』、pp 3-26.
- 6 (書評)「奥山文幸編『蓮田善明論』、翰林書房、平成29年」、『図書新聞』3336、1月、pp 1.

- B : 1 (研究会発表)「書物と権力のその後」、第16回幕末明治研究会、6月23日、於京都大学
- 2 幕末明治研究会幹事(16回、17回、12月8日、於明星大学)
 - 3 中世文学会委員
 - 4 説話文学会運営委員
 - 5 仏教文学会委員
 - 6 国際日本学研究センター共同研究員(研究テーマ 歴史史料と説話との間に)
成果は、思文閣出版・臨川書店から2019年中に出版予定。既に論文(二本)は提出済み。

- C : 1 (講演)「源氏物語『澁標』講読」、明星大学人文学部日本文化学科公開講座、10月6日、於明星大学
- 2 (講演)「源氏物語『蓬生・関屋』講読」、明星大学人文学部日本文化学科公開講座、10月13日、於明星大学
 - 3 (講演)「鎌倉の政事・宗教・古典」、鎌倉文学館「鎌倉時代を読む 古典から現代作品まで」記念講演、11月16日、於鎌倉文学館
 - 4 (論説)「回想 西部邁先生」、『表現者 クライテリオン』78、啓文社出版、pp 189-190、5月
 - 5 (論説)「書物・グレード・ネットワーク」、『本郷』138、吉川弘文館 pp 29-31、11月

- D : 1 科研(近世において文庫を創設・形成した大名に関する総合的研究、科研基盤(B)、2018～22)について
- 研究集会 5月26日 研究代表者前田他、研究分担者、研究協力者、グーグルドライブ指導者を一同に集めて、四年間の研究計画および調査データを共有するためのグーグルドライブの設定を行った。
- 2 科研調査① 8月15～17日に島原市肥前島原松平文庫で大名文庫の調査を行った(同行者、分担者渡瀬淳子・松本麻子・協力者内田澗子氏)
科研調査② 3月14～16日に島原市肥前島原松平文庫で大名文庫の調査を行った(同行者、同上)
 - 3 科研データベース構築作業① 2月15～22日 於前田研究室(共同作業、渡瀬淳子氏) *但し、前科研経費による。

科研データベース構築作業② 3月7～9日 於前田研究室（共同作業、渡瀬淳子氏）＊但し、前科研費経費による。成果報告書完成・発送。

科研データベース構築作業③ 3月26～31日 於前田研究室（共同作業、渡瀬淳子・荒川真一氏）＊但し、前科研費による。

科研データベース構築作業④ 8月21～24日 於前田研究室（共同作業、渡瀬淳子氏）

科研データベース構築作業⑤ 12月26～29日 於前田研究室（共同作業、渡瀬淳子氏）

4 ゼミ等について。

今年度は2年日本文化基礎演習、3年日本文化演習、4年卒研ゼミを担当した。3年の演習が例年よりも人数的に多く、2年はいつもどおりのチーム発表（年六回）だったが、3年に関しては、はじめて二人一組の発表となり、各組年六回～七回の発表が可能となった。学生の達成度においては、例年に較べて2年次において、既にかなり読解力がつけてきたものが出たのが収穫であろうか。他方、3年次の学生は個体差があまりに大きく、いくらやっても伸びないものもいた（むろん、2年にもこの手の学生はいないわけではない）。とはいえ、3年で言えば、原文・古注釈を現代語に訳して書かせ、対象となった和歌の類歌を調査し、それまた訳させる作業を通じて、古典の世界を体得する学生が出てくるのは、教師冥利に尽きる。今後も、この方法で古文・和歌が読める・解釈できる人間を作っていきたい。これが私の使命だと思っているからである。

芳澤 元

- A : 1 (論文)「一休宗純と三途河御阿姑——附、地獄辻子と遊女観——」、『東京大学史料編纂所研究紀要』28号、pp.32-40、2018.03.26.
- 2 (論文)「室町時代の南都律僧と京都五山」、『明星大学研究紀要 人文学部・日本文化学科』26号、pp.45-58、2018.03.09.
- 3 (論文)「足利將軍家の受衣儀礼と袈裟・掛絡」、前田雅之編『画期としての室町——政事・宗教・古典学——』（勉誠出版）、pp.188-209、2018.10.19.
- 4 (論文)「中世後期の社会と在俗宗教」、『歴史学研究』976号、pp.59-68、2018.10.25.
- 5 (解説)「展示評・日本の表装——紙と絹の文化を支える／掛軸の歴史と装い——」、『歴史学研究』967号、pp.62-64、2018.02.25.
- 6 (報告要旨)「南都仏教と都鄙間交流」、『印度学仏教学研究』66-2号、p.237、2018.03.
- B : 1 日本学術振興会化学研究費補助金（若手研究）「分野横断的な中世仏教文献の研究——南北朝期の新史料『梅林折花集』を中心に——」研究期間：2018.04～2021.03.
【研究代表者】
- 2 日本私立学校振興・共済事業団若手研究者奨励金「16世紀前期の在俗宗教に関する

- る基礎的研究」研究期間：2018.04～2019.03.【研究代表者】
- 3 宗教法人鹿苑寺・北山金閣鹿苑寺委託研究「室町殿と鹿苑寺」研究期間 2017.04～現在【研究代表者】
 - 4 国際日本文化研究センター重点共同研究「応永・永享期文化論——「北山文化」「東山文化」という大衆的歴史観のはざままで——」研究期間：2018.06～2021.03.【共同研究員】
 - 5 科学研究費補助金（基盤研究B）「中世後期守護創建禅院の基礎的研究——国菩提寺と京菩提寺——」研究期間：2014.04～2018.03（研究代表者：早島大祐）【研究協力者】
 - 6 野上記念法政大学能楽研究所：共同利用・共同研究拠点（能楽の国際・学際的研究拠点）「能作品の仏教関係語句データベース作成と能の宗教的背景に関する研究」2017.06～現在（研究代表者：高橋悠介）【研究分担者】
 - 7 課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業 領域開拓プログラム（課題D：嗜好品の文化的・社会的意味）「失われた飲食文化の復活と現代に問いかけるその意義」2017.10～現在（研究代表者：伊藤信博）【研究分担者】
 - 8 頭脳循環を加速する戦略的国際研究ネットワーク推進プログラム「室町後期から江戸期の絵写本・版本研究を通じた日本学研究と西欧とのネットワーク構築」2017.10～現在（研究代表者：伊藤信博）【研究担当者】
 - 9（研究発表）「第1回準備報告」、歴史学研究会日本中世史部会（於：東京大学本郷キャンパス福武ホール地下1階史料編纂所大会議室 東京都文京区）2018.01.27.
 - 10（研究発表）「酒餅論外伝——美濃の守護所の饅頭屋より——」、頭脳循環を加速する戦略的国際研究ネットワーク推進プログラムによる国際会議「文化創造の図像学——絵写本・奈良絵本、絵入り版本とその周辺——」（於：名古屋大学 NIC1 階 IdeaStoa 名古屋市千種区）2018.03.10.
 - 11（学術講演）「足利將軍の禅宗入門」、相国寺教化活動委員会講演会「相国寺と室町殿・中世社会」第1回（相国寺・寺務棟2階講堂 京都市上京区）2018.03.15.
 - 12（研究発表）「第2回準備報告」、歴史学研究会日本中世史部会（於：明治大学駿河台キャンパスグローバルフロント3階403N教室 東京都千代田区）2018.03.31.
 - 13（研究発表）「第3回準備報告」、歴史学研究会日本中世史部会（於：明治大学駿河台キャンパスグローバルフロント3階403N教室 東京都千代田区）2018.04.30.
 - 14（研究発表）「第4回準備報告」、歴史学研究会日本中世史部会（於：早稲田大学戸山キャンパス33号館231教室 東京都新宿区）2018.05.19.
 - 15（研究発表）「中世後期の社会と在俗宗教」、歴史学研究会2018年度大会・日本史部会中世史部会『中世における宗教と社会』（於：早稲田大学早稲田キャンパス10号館109教室 東京都新宿区）2018.05.27.
 - 16（学術講演）「南北朝時代のラーメン!?!——麺がつなぐ異文化交流——」、連続文化セミナー第5回（於：椋山女学園大学星が丘キャンパス国際コミュニケーション学部010教室 名古屋市千種区）2018.07.20.
 - 17（学術講演）「室町殿の出家と受戒」、相国寺教化活動委員会講演会「相国寺と室町

-
- 殿・中世社会」第2回（於：相国寺・寺務棟2階講堂 京都市上京区）2018.08.31.
- 18（学術講演）「足利義満肖像について」、相国寺教化活動委員会講演会「相国寺と室町殿・中世社会」第3回（於：相国寺・寺務棟2階講堂 京都市上京区）2018.11.30.
- 19（研究発表）「僧房酒宴と室町文化」、第42回藝能史研究会東京大会『寄合芸能論の現在』（於：法政大学市ヶ谷キャンパス富士見ゲート6階601号室 東京都千代田区）2018.12.08.
- 20（研究発表）「醍醐寺賢西『梅林折花集』ノート——14世紀の騷擾と寺院——」、第3回中近世宗教史研究会（於：東京大学本郷キャンパス福武ホール地下1階史料編纂所中会議室 東京都文京区）2018.12.14.
- 21（学会活動）佛教史学会委員 2008.10～現在
- 22（学会活動）早稲田大学日本宗教文化研究所招聘研究員 2013.04～現在
- C：1（模擬授業）「坊さんの宴 Vol.2——文化史への入口——」、明星大学オープンキャンパス、2018.07.29.
- 2（模擬授業）「坊さんの宴 Vol.3——文化史への入口——」、明星大学オープンキャンパス、2018.08.05.
- D：1（学内研究会）「歴史を旅する会」冬季エクスカージョン（於：京都府京都市）2018.02.11～13.
- 2（学内研究会）「歴史を旅する会」夏季エクスカージョン（於：埼玉県川越市）2018.08.07.
- 3（学内企画）選択科目「日本文化研究」における史跡踏査「面白の花の都をめぐる金閣・嵯峨・伏見」（於：京都市北区・右京区・伏見区・中京区）2018.08.28～30.
- 4（学内企画）必修科目「日本文化基礎演習2」による国文学研究資料館特別展「祈りと救いの中世」見学（於：東京都立川市）2018.11.24.
- 5（調査編集）「能作品の仏教関係語句データベース作成と能の宗教的背景に関する研究」（於：法政大学能楽研究所：共同利用・共同研究拠点）